

第2章 スポーツ推進に関する現状と課題

2-1 スポーツ推進に関する現状

(1) 町民のスポーツ実施状況と意識

本計画の策定にあたり、20歳以上の町民2,000人を対象とした生涯スポーツアンケート調査を行いました。

(H27年1月実施 回収数721件、回収率36.1%)

① スポーツ実施率・目的

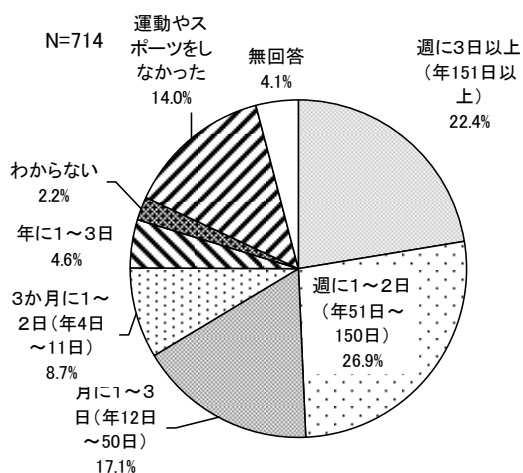
成人の週1回以上のスポーツ実施率は約49.3%となっています。これは平成16年度実施率43%に比べやや向上しており、平成27年度の町目標の47%をクリアしています。また、国(47.5% H25)、県(45.5% H25)の実施率と比較してもよい値となっています。

アンケートの年齢別の割合でみると、年代が上がるほど実施率が高くなり、60代、70代の実施率は60%を超えています。20代、30代は30%程度の実施率で、世代間の差が顕著になっています。また、「月に1～3日以下」「ほとんどしない」という人の割合も30%程度あります。

スポーツをする目的として、健康保持や体力増進・向上が最も多くなっています。高齢化に伴う健康意識の高まりも顕著です。

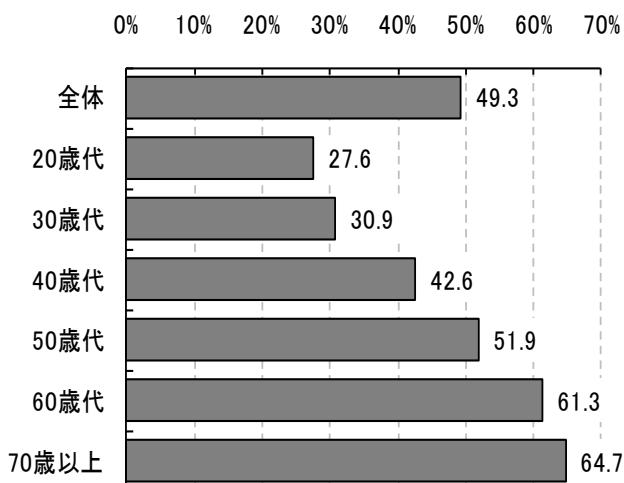
また、余暇の有効利用やストレス解消、運動・スポーツが好き、ダイエット、友達づくりなど目的は多様になっています。反面、競技会のためにスポーツをする人は多くはありません。

■ 成人の週1回以上のスポーツ実施率



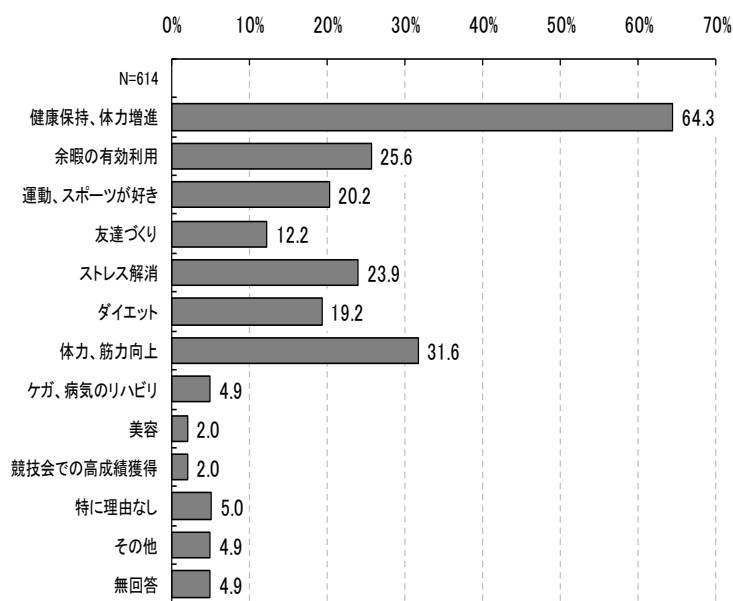
資料:東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

■ 年齢別の週1回以上のスポーツ実施率



資料:東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

■ スポーツを行っている理由



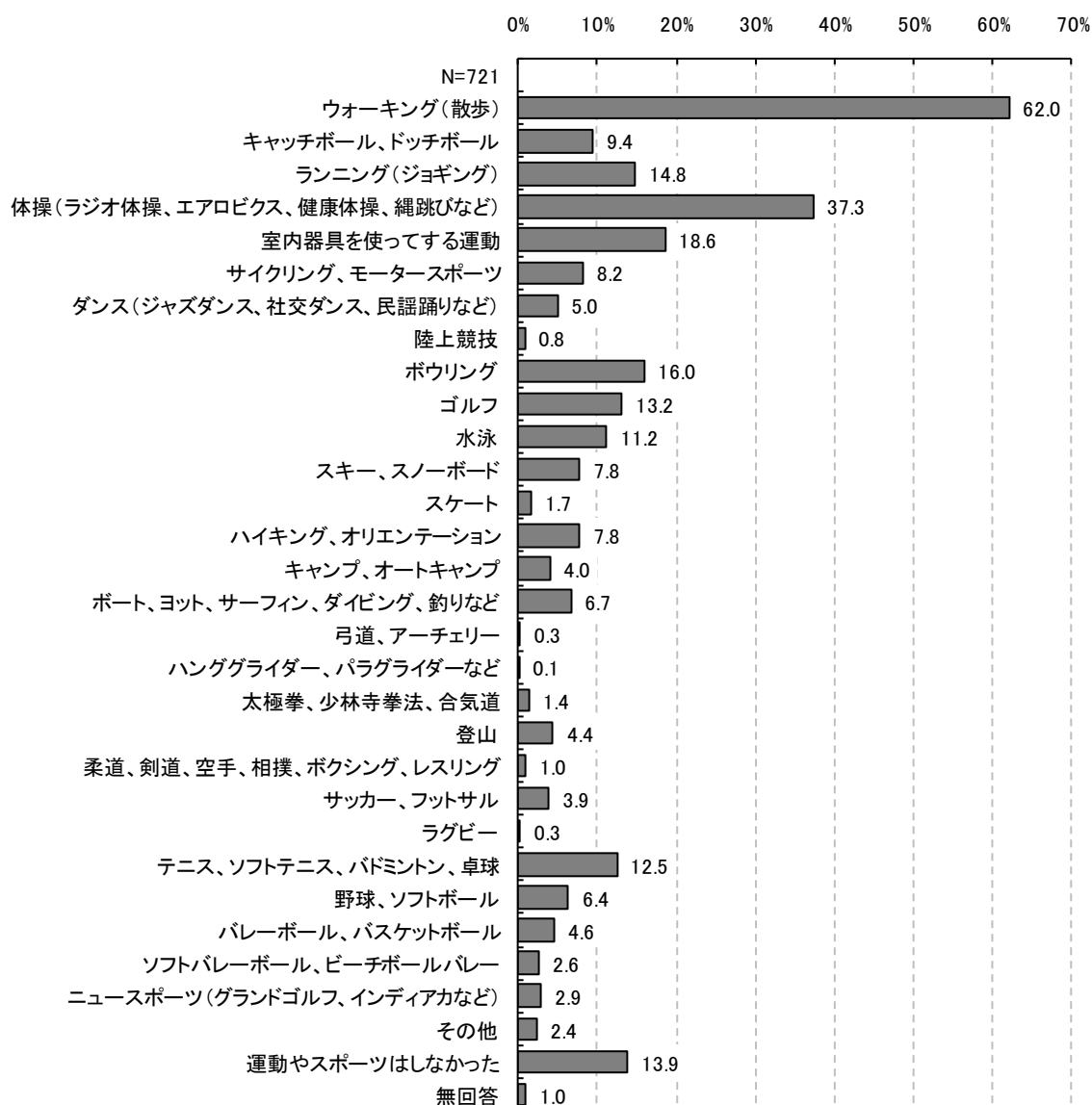
資料:東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

②運動・スポーツ種目

スポーツを定期的に行っている人は、「ウォーキング」「ジョギング」「体操」「室内器具を使ってする運動」などに親しむ人が多いことがわかります。また、「ボウリング」「ゴルフ」「テニス」「バドミントン」「卓球」など、仲間や家族で楽しむスポーツも人気があります。その他にも「水泳」「キャッチボール」「スキー」「スノーボード」「ハイキング」「登山」「キャンプ」「ヨット」「サーフィン」「野球」など、様々なスポーツに親しんでいるようです。

一方、「運動やスポーツはしなかった」と回答した方は14%で前回の31%から大きく向上しています。「全国体力・スポーツに関する世論調査(H25)」における結果の19.1%と比べても、町民の運動・スポーツの実施率は比較的良好傾向がみられ、全体の傾向として、様々なスポーツ種目への広がりがみられます。

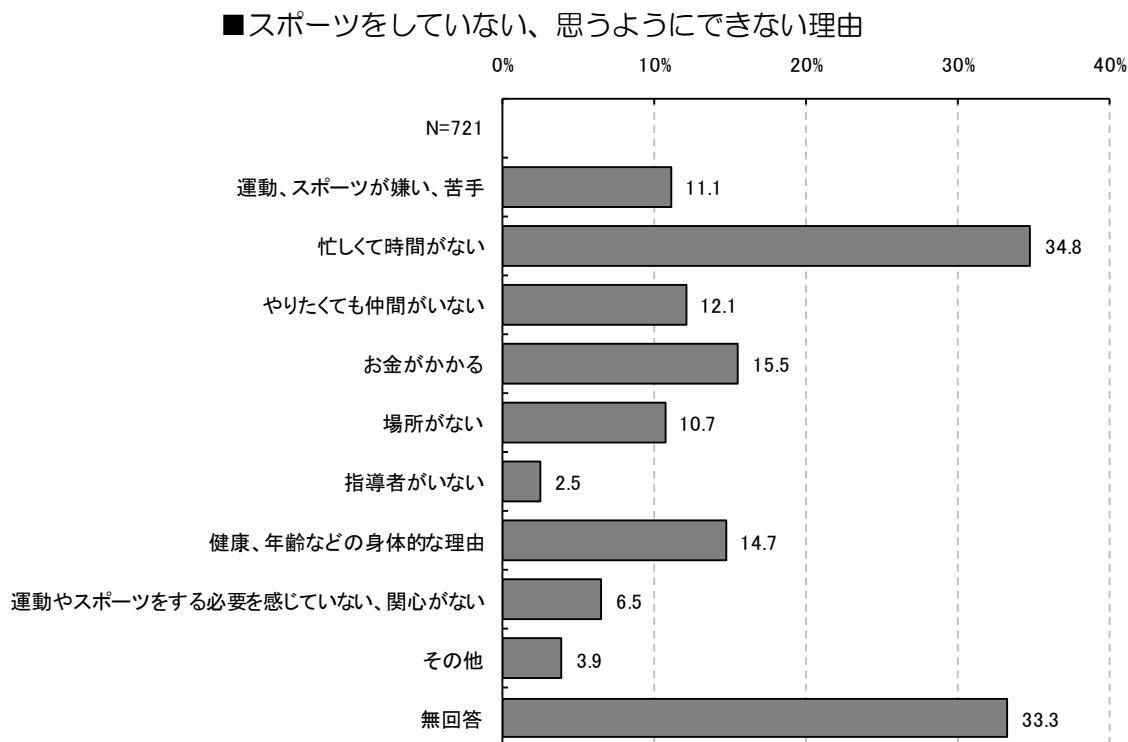
■この1年間に行った運動やスポーツ



資料：東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

③スポーツをしていない、思うようにできない理由

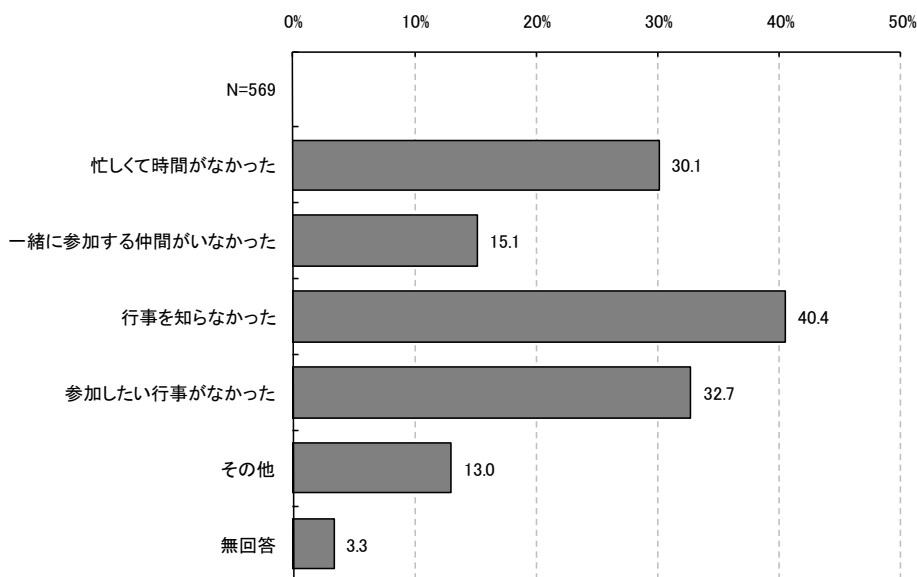
運動・スポーツをしていない、思うようにできない理由は「忙しくて時間がない」が最も多く、以下「お金がかかる」「健康、年齢などの身体的な理由」「仲間がいない」などの順となっています。「場所がない」という理由は上位になっておらず、無回答が多いのは、現状への満足度ととらえることもできます。



資料：東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

町主催のスポーツ行事に参加しなかった理由としては、「行事を知らなかった」という理由が最も多く、以下「参加したい行事がなかった」「忙しくて時間がなかった」などの順になっています。スポーツ関連情報の提供のあり方については今後の課題として取り組んでいきます。

■町スポーツ行事へ参加しなかった理由



資料：東浦町生涯スポーツアンケート調査(H27)

④子どもの体力・運動能力の現状

平成 26 年度に町内の小中学校で実施された体力・運動能力調査結果について、前回計画策定時の平成 18 年度と比較したところ、小学校 5 年生男子では「上体起こし」と「20mシャトルラン」で記録の向上が見られますが、全国平均と比べるとまだ低い状況です。「ソフトボール投げ」の記録は少し下がりました。小学校 5 年生女子では、3 種目に記録の向上が見られましたが、全国平均と比較すると平均を上回る種目はなく、4 種目が平均を下回っています。



区民体育祭での演技

中学 2 年生男子では平成 18 年度との比較で「上体起こし」と「反復横とび」の記録に向上が見られ、特に「反復横とび」については全国平均を上回っています。中学 2 年生女子においては、平成 18 年度との比較で「握力」「ハンドボール投げ」の記録が下がり、また全国平均を下回っている状況です。

■体力・運動能力調査結果比較表 ○：全国平均値より 3%上回る △：3%下回る

小5男子

	H18 東浦町 平均	H26 東浦町 平均	H18 との 比較	H26 全国 平均	全国 との 比較
握力(kg)	16.8	16.5	-	16.6	-
上体起こし(回)	16.7	18.8	○	19.6	△
長座体前屈(cm)	32.9	32.6	-	32.9	-
反復横とび(点)	39.4	40.2	-	41.6	△
20mシャトルラン(回)	40.5	44.6	○	51.7	△
50m走(秒)	9.2	9.4	-	9.4	-
立ち幅跳び(cm)	151.4	154.3	-	151.7	-
ソフトボール投げ(m)	23.8	22.7	△	22.9	-

小5女子

	H18 東浦町 平均	H26 東浦町 平均	H18 との 比較	H26 全国 平均	全国 との 比較
握力(kg)	16.5	15.5	△	16.1	△
上体起こし(回)	14.9	17.2	○	18.3	△
長座体前屈(cm)	37.1	37.9	-	37.2	-
反復横とび(点)	36.3	36.7	-	39.4	△
20mシャトルラン(回)	30.9	33.6	○	40.3	△
50m走(秒)	9.5	9.6	-	9.6	-
立ち幅跳び(cm)	142.6	148.4	○	144.8	-
ソフトボール投げ(m)	14.0	13.7	-	13.9	-

中2男子

	H18 東浦町 平均	H26 東浦町 平均	H18 との 比較	H26 全国 平均	全国 との 比較
握力(kg)	28.0	28.2	-	29.0	△
上体起こし(回)	25.4	28.1	○	27.5	-
長座体前屈(cm)	46.1	43.0	△	42.9	-
反復横とび(点)	49.8	53.9	○	51.3	○
持久走(秒)	387.4	386.3	-	392.9	-
50m走(秒)	7.8	7.8	-	8.0	-
立ち幅跳び(cm)	195.4	194.4	-	193.4	-
ハンドボール投げ(m)	21.8	21.3	-	20.9	-

中2女子

	H18 東浦町 平均	H26 東浦町 平均	H18 との 比較	H26 全国 平均	全国 との 比較
握力(kg)	23.1	21.8	△	23.5	△
上体起こし(回)	22.6	24.0	○	23.4	-
長座体前屈(cm)	43.3	43.5	-	45.3	△
反復横とび(点)	45.6	46.6	-	46.3	-
持久走(秒)	300.5	293.7	-	289.5	-
50m走(秒)	8.7	8.8	-	8.9	-
立ち幅跳び(cm)	161.5	163.4	-	166.9	-
ハンドボール投げ(m)	13.0	12.4	△	13.2	△

出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

(2) スポーツ活動の概要

①スポーツ教室

毎年、参加者のニーズをふまえて実施し定員を上回る教室もあり好評です。平成26年度は子ども体操（園児）をはじめ、親子体操、卓球など9種13講座を実施しました。243名が受講し、のべ2591名の参加がありました。幼児児童対象が9講座、親子対象が1講座、一般対象が3講座です。幼児児童対象の講座では、受講後、保護者がサークルを設立し、継続してスポーツ活動に取り組む様子も見られました。

■平成26年度スポーツ教室開催講座

開催時期（5月中旬から11月中旬）

教室名	対象	受講者数	回数	教室名	対象	受講者数	回数
子ども体育年長A	年長園児	20	12	女性ストレッチ&エアロ	一般女性	30	12
子ども体育年中A	年中園児	20	12	スラックライン	一般	20	12
子ども体育年長B	年長園児	17	12	初心者キッズダンス	年中～ 年長園児	20	12
子ども体育年中B	年中園児	20	12	ジュニア水泳 (ヤドカリ)	小1～小2	14	7
親子体操	年少園児 及び保護者	36	12	ジュニア水泳 (アヒル)	小3～小6	17	7
子ども卓球教室	小1～小6	11	12	ミニテニス体験教室	一般	17	2
ジュニアソフトテニス	小4～小6	19	12				

②みんなでスポーツを楽しむ会

総合型スポーツクラブの設立を視野に入れ、それぞれの小学校区で様々な世代の方が気軽にスポーツに親しめる場を提供しています。スポーツ推進委員、地区のスポーツ指導者やスポーツボランティアが指導にあたり、それぞれの地区で継続的に活動し回数も年々増えてきています。

■平成26年度開催状況

地区	開催日	場所	種目	開催回数
新田地区	土曜午前	卯ノ里小学校	ビーチボールバレー	14
石浜地区		片葩小学校	ミニテニス	29
生路地区		生路小学校	ミニバスケットボール	30
藤江地区	木曜夜間	藤江コミュニティセンター	ソフトバレーボール	45

③東浦マラソン

昭和50年に第1回東浦町民マラソン大会が開催されました。当初のコースは役場～県営東浦住宅(石浜)間で、160名が参加しました。第26回大会(平成11年:参加者2,147名)より、会場を「あいち健康の森公園」に移しました。第27回大会(平成13年:参加者1,773名)より名称を「東浦マラソン」に変更し、町民大会からオープン大会とし、町外の方も参加可能としました。JR大府駅よりシャトルバスを運行していることもあり、近隣市町その他、県外からの参加も多くなりました。第39回より10kmコースを変更し給水所も設けました。また、物産展では東浦町のPRをしています。



参加者4000人規模の東浦マラソン

■過去5年間の開催状況

大会名	第36回	第37回	第38回	第39回	第40回
開催日	2010.12.19	2011.12.18	2012.12.16	2013.12.15	2014.12.21
参加人数	4,300	4,336	4,103	3,841	3,737

④愛知駅伝

愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝競走大会(通称:愛知駅伝)に本町も第1回目から参加し、町村の部では第9回大会までに6度の優勝を遂げ、強豪チームとして注目を集めています。

実行委員会にて年間計画を立て、小中学生への練習会(年2回)や選手選考会(年3回)を開催し、広く選手を募集しています。また、実業団選手や選手OBの協力を得て、毎年よりよいチームづくりをめざしています。

選手練習会(年7回)では、小学生から大人までが一緒に汗を流し、東浦町代表チームとして一丸となって、毎年記録に挑戦しています。

《開催日》 12月第1土曜日

《場所》 愛・地球博記念公園

《コース》 公園内周回コース
11区間(32.9km)



第9回 愛知駅伝

■東浦町代表チームの実績 (町村の部)

大会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
順位	優勝	5位	6位	3位	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝
区間賞	1区間	1区間	1区間	なし	5区間	4区間	6区間	4区間	3区間

⑤各地区コミュニティでのスポーツ関係活動

各地区コミュニティの体育部会で、地区の住民に向けて、気軽に参加してもらえるスポーツ関係行事を企画し行っています。種目や活動内容については、地域の実態に応じて、より多くの住民が楽しめるよう工夫をしています。

■コミュニティ主催スポーツ関係行事

月	大会・行事名
4月	ハイキング（森岡、生路）、グラウンドゴルフ大会（森岡、石浜）
5月	ウォーキング（森岡、緒川、石浜、生路）
6月	グラウンドゴルフ大会（藤江）
7月	マレットゴルフ大会（森岡）、ウォーキング（生路）
8月	水中ゲーム大会（新田）、グラウンドゴルフ大会（緒川）
9月	ビーチボールバレー大会（新田）
10月	区民体育祭（全地区）、ウォーキング（生路）
11月	ソフトボール大会（森岡）ハイキング（石浜）
12月	ジョギング大会（藤江）
1月	カローリング大会（緒川）、ボウリング大会（石浜）
2月	ソフトボール大会（森岡）、スポーツフェスタ（生路）
3月	マラソン（藤江）

⑥スポーツ指導者養成講習会

平成16年度より町内のスポーツ指導者に対し、指導技術向上をめざし指導者養成講習会を開催しています。スポーツにおける安全など今日的なニーズをふまえ、町独自のプログラムを組み、専門的な学習の場を提供しています。スポーツ推進委員や各団体・クラブの指導者だけでなく一般の方の参加もあり好評です。平成26年度までに、参加者のべ900名の方が受講しています。



スポーツマッサージの講習

■平成26年度開催状況

日時	会場	講座名・講師	受講者数
第1回 9/18	はなのき会館 研修室	「運動と栄養」 あいち健康森健康科学総合センター職員	34人
第2回 9/27	町体育館 柔剣道場	「安全・効果的なセルフストレッチング指導」 JCCA アドバンストレーナー	35人
第3回 10/11	町体育館 柔剣道場	「コーディネーショントレーニング」 あいち健康森健康科学総合センター講師	32人
第4回 10/21	はなのき会館 研修室	「外傷予防と応急処置」 阿久比スポーツ医科学研究所職員	32人
第5回 10/25	町体育館 小体育室	救急法実習（普通救命救急実習） 半田消防署 東浦支署	16人
第6回 11/1	はなのき会館 研修室	「メンタルトレーニング」 至学館大学 准教授	31人

⑦健康づくり活動

●各地区ウォーキングコース(健康課)

各地区に、おすすめのウォーキングコースがあり、それぞれのコースでは地区の風景を味わいながら、楽しく気軽にウォーキングをすることができます。

また、地区コミュニティの活動として取り組んでいる「ウォーキング」や「ハイキング」などのコースとしても、多くの人に利用されています。



■東浦町ウォーキングコース

1.森岡コース	岡田川沿いと静かな住宅を歩くコース
2.緒川コース	岡田川、海岸沿いと丘陵地の風景のあるコース
3.新田コース	変化のある丘陵地を歩くコース
4.石浜コース	明徳寺川、豆搗(まめつき)川沿いと旧市街地と田園風景のあるコース
5.生路コース	豆搗(まめつき)川沿いと旧跡の町中と郊外を歩くコース
6.藤江コース	須賀川沿いと田園風景のあるコース
7.健康の道	於大の道と於大公園を歩くコース

資料：健康課 東浦町ウォーキングコースマップ



ウォーキングコース(石浜コース)

●高齢者いきいきマイレージ事業(健康課)

町民が、いきいきと生活していくため、健康づくりや介護予防への取組を応援する「高齢者いきいきマイレージ事業」を行っています。体を動かしたり、健康に気を付けた行動をしたりするたびにカードにポイントを貯めて、チャレンジ達成賞として景品がもらえたり、特産物が当たる抽選に応募することもできます。

資料：健康課パンフレット(高齢者いきいきマイレージ)

健康ポイントとして、健康診査、各種がん検診、健康づくり等の教室に参加したとき、また、自己ポイントとして、町やコミュニティ等が開催するイベントや講座への参加や自分で健康づくりの取組を実践したときにポイントが獲得できます。

スポーツ課としても、健康づくりや体力向上のため、体育館で「てんとう虫テスト(転倒リスク判定テスト)」「成人体力テスト」などを行っており、マイレージ事業を健康課と連携し取組を推進しています。

(3) スポーツ施設

①社会体育施設



みどり浜緑地オープニングイベント交流試合

②学校体育施設開放事業

学校体育施設の開放は、年間を通して同じ曜日の同じ時間帯に定期利用を行う団体のみが利用できるシステムになっています。登録団体数はここ数年大きな増減はなく、延べ利用人数はやや減少傾向にあります。

また、町営第1グラウンドや2つの中学校の運動場に照明施設があり、ナイターでの利用も可能です。

■学校開放施設実績（平成26年度）

学 校 名	利用施設	登録団体数	延べ利用回数	延べ利用人数
森岡小学校	運 動 場	5	150	2,888
	体 育 館	7	325	5,666
緒川小学校	運 動 場	2	172	9,738
	体 育 館	5	331	7,084
卯ノ里小学校	運 動 場	1	89	3,139
	体 育 館	5	219	3,163
片葩小学校	運 動 場	3	61	1,247
	体 育 館	6	349	5,659
石浜西小学校	運 動 場	2	41	589
	体 育 館	6	260	3,620
生路小学校	運 動 場	1	69	1,708
	体 育 館	4	143	2,000
藤江小学校	運 動 場	2	546	5,405
	体 育 館	7	326	8,657
東浦中学校	体 育 館	7	281	4,434
	飛 翔 館	2	275	3,859
北部中学校	運 動 場	3	45	2,057
	体 育 館	7	281	4,256
	武 道 場	3	183	4,598
	夜 間 照 明	11	62	2,026
西部中学校	運 動 場	2	105	2,066
	体 育 館	4	225	3,123
	武 道 場	3	144	3,632
	テニスコート	1	22	264
	夜 間 照 明	5	107	3,210
合 計		104	4,811	94,088

(4) スポーツ団体と活動内容

① 体育協会

団体数 165 団体、3,000 人の会員が日々の練習を行ったり、各種大会に参加したりして競技スポーツに取り組んでいます。団体数会員数ともに減少傾向にはありますが、町内での大会数は年間 92 回とそれぞれの種目で盛んに活動しています。特に軟式野球やソフトボールは年間を通してリーグ戦を行うなど活発に活動しています。

また、全国大会及び国際大会等に出場あるいは入賞するなど、顕著な成績を収めた選手を表彰し、町内スポーツの振興を図る活動も行っています。



町スポーツ祭開会式

■ 加盟団体数及び会員数（平成 26 年度）

部 名	団体数	大会数	会員数	部 名	団体数	大会数	会員数
軟 式 野 球	43	23	809	バ ド ミ ン ト ン	3	5	68
ソ フ ト ボ ー ル	45	8	844	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	3	4	35
卓 球	15	5	214	ゲ ー ト ボ ー ル	3	3	15
ソ フ ト テ ニ ス	4	11	77	ゴ ル フ	7	2	205
バ レ ー ボ ー ル	4	9	66	テ ニ ス	14	6	205
サ ッ カ ー	3	3	67	イ ン デ ィ ア カ	4	3	67
剣 道	1	2	25	グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ	6	3	151
柔 道	1	2	32	ソ フ ト バ レ ー ボ ー ル	9	3	120
合 計					165	92	3,000

《町スポーツ祭》



軟式野球大会



テニス大会



女子バレーボール大会

②スポーツ少年団

スポーツ少年団は12団体395人の団員、103名の指導者が子どもの体力向上や、スポーツの楽しさを味わわせる活動を行っています。また、体育協会主催の大会に参加するなど連携しながら活動しています。また、スポーツ少年団対抗駅伝競走大会を開催するなど、種目を越えた交流も行っています。



軟式野球学童リーグ戦

■団構成及び団員数（平成26年度）

種目	団体名	団員数	指導者数	種目	団体名	団員数	指導者数
野 球	森岡クラブ	23	13	サッカー	東光フットボールクラブ	151	27
	緒川ジュニア	27	5		東浦キッズフットボールクラブ	27	5
	新田ファイヤーズ	11	9	バレーボール	片葩JVC	10	5
	石浜ボーイズ	28	7	剣道	森岡剣道	35	4
	生路レッズ	20	6		卯ノ里剣道	15	4
	藤江ジャイアンツ	19	14	連帯空手	東浦哲心会	30	4
合計				12団体	395	103	

③スポーツ推進委員会

各地区の区長より推薦を受けた方をスポーツ推進委員に委嘱をしています。

地区でのスポーツ推進役として、行事やイベントなどで活躍しています。特に、ニュースポーツ（レク・インディアカ、パタンク、ミニテニス、ビーチボールバレー）の町内大会や研修会を行い、競技スポーツだけでなく、多世代におけるスポーツの普及に努めています。

■東浦町スポーツ推進委員(平成26年度)

地区	人数	地区	人数
森岡	3	石浜	4
緒川	4	生路	3
新田	4	藤江	3
合計		21	



ニュースポーツ指導(キンボール)



「みんなでスポーツを楽しむ会」企画運営

④総合型地域スポーツクラブ

町内唯一の総合型スポーツクラブとして、「森と川スポーツクラブ」が平成 20 年 8 月に森岡・緒川地区に設立されました。また平成 22 年 10 月には特定非営利活動法人（NPO）として承認され、地域スポーツ振興の拠点として活動を行っています。平成 26 年度の会員数は約 200 名（家族会員、賛助会員を含む）。

また、他地区においても「みんなでスポーツを楽しむ会」として総合型スポーツクラブ設立に向けた準備クラブの活動が定期的に行われるようになってきています。これからも、気軽に参加できる地域のスポーツクラブとしての役割が期待されています。



カローリング



ビーチボールバレー

■森と川スポーツクラブ定期活動プログラム(平成 27 年度)

種 目	活 動 日	活 動 場 所	種 目	活 動 日	活 動 場 所
インディアカ	毎週水曜	北部ふれあい	ミニバスケットボール	第 2・4 土曜	森岡小体育館
ビーチボールバレー	毎週土曜	緒川小体育館	卓 球	毎週日曜	森岡小体育館
ミニテニス	第 1・3 土曜	森岡小体育館	※スナッグゴルフ	第 1・3 日曜	森岡小運動場
カローリング			※グラウンドゴルフ	第 2・4 日曜	森岡小運動場

※印は事前予約を必要とする種目

⑤その他のサークル

町内体育施設を定期利用している登録サークルが 91 団体あります。テニス、バドミントン、新体操などの競技種目だけでなく、子ども体操、ダンス、健康体操や太極拳など活動内容や年齢層も幅広くなっています。また、生涯学習課が作成している「いきいき生涯学習ネット」の体育・スポーツ関係の登録サークルが 86 団体(平成 27 年 4 月 1 日現在)あり、開かれたサークルとして情報を公開しています。



子ども体操サークル



ペタンク同好会

2-2 東浦町スポーツ振興の課題

(1) スポーツに親しむ機会の拡充

- 幼児期からの子どもの体力の向上、運動習慣の確立などスポーツ活動の推進が求められています。
- 子どもたちを取り巻く環境が変化し、気軽に外遊びをしたり、スポーツをしたりする場所や機会が減ってきています。
- 子育て世代（30代、40代）のスポーツ実施率の低迷から、親子で参加できるスポーツイベントや教室が求められています。
- どの世代も気軽に体を動かし、楽しくスポーツをとおして交流できるような身近な場の提供が求められています。

(2) 地域の絆を支えるスポーツ

- 地域の活性化やコミュニティ活動を円滑に進めるためのスポーツ活動が求められています。
- 少子高齢化、核家族化の進む地域住民がスポーツで交流するためには、一人で参加するだけでなく、家族、学校、地域ぐるみで気軽に参加できるスポーツの場の充実が必要とされています。

(3) スポーツ環境の整備・充実

- 体育施設の老朽化が進んでおり、各施設の耐久性、安全性について調査を行うとともに、計画的な整備、改修を行っていく必要があります。
- スポーツ施設以外の公園やウォーキングロードでできるスポーツの紹介などを行い、様々なスポーツ環境の有効活用について推進していきます。
- ライフスタイルやニーズに応じた幅広いスポーツに対応した備品や設備の充実が求められています。
- 体育施設の有効活用を図るとともに、利便性を重視した施設運営が求められています。

(4) 人と組織づくり

- 体育協会やスポーツ少年団などの加入人数の減少から、スポーツ活動を支える団体への支援の充実が必要とされています。
- スポーツ活動を支える指導者及び審判員の養成が求められています。
- 各種クラブ団体の相互連携ができるよう、情報交換の場や情報の共有が求められています。

(5) 情報提供・発信

- 住民のスポーツに対する関心は多様化しており、取組意識の高いスポーツ、住民が求めている情報等、スポーツに関するニーズの把握と分析が重要です。
- スポーツ教室、大会や行事等の参加者数は減少傾向にあり、特に若い年齢層の参加者が少なくなっているため、様々な方法でスポーツに関する情報発信をしていく必要があります。
- 健康づくりや介護予防としてのスポーツの価値を情報発信し、高齢者世代のスポーツに対する意識を高め、その効果についての啓発が求められています。
- スポーツ関連情報について、町民への広報が充分でない状況もあり、情報提供のあり方について工夫する必要があります。